

記入者: _____

【 _____ 港】 貨物船用

津波対応 確認事項

船舶運航事業者が事前に記入（荷主、船長等と確認）

入港前にあらかじめ確認

津波対応（判断目安）

港・船舶情報		
港名：	着岸方法： 入船・出船	
着岸岸壁：	岸 壁： 耐震強化・非耐震強化	
船名：	総トン数：	
船種：	乗員： 人	積荷：

避難基本情報		
避難海域：（ _____ ）から（ _____ ）度（ _____ ）m	水深：	m
北緯： _____	東経： _____	避難海域までの到達時間： _____ 分
陸上退避場所：	操船支援可否： タグ（ 要・否 ）	

連絡先	
代理店：	運航会社：
ステベ：	港 長：
綱取り：	海上保安部：
タグ会社：	その他：

可能な限り、事前に津波情報を確認 想定最大津波高： _____ m（到達時間： _____ ）

津波到達時間に応じた津波対応（判断目安）					
警報レベル	津波高さ	着岸中		錨泊中	
		_____分以内	_____分以上	_____分以内	_____分以上
大津波警報	3 m以上				
津波警報	1 ~ 3 m				
津波注意報	1 m未満				



船長が判断

地震・津波発生時に判断

地震情報				
時刻	時	分	規模	発生地
			M	
				震度
津波情報				
	大津波警報		津波警報	津波注意報
津波到達時間		分	津波予想高	m
船長判断				



チェックリスト

(可能な限り、各作業の想定所要時間を事前に記入)

津波情報の収集手段を確保し、情報収集
(テレビ・ラジオ・VHF)

港長・港湾管理者等の
指示の有無を確認

港外退避の場合

- ① 荷役作業の中止 (分)
- ② 乗組員の招集 (分)
- ③ 離棧・出港(エンジン及びスラスタ)の準備 (分)
- ④ タグ、水先人及び綱取り支援の有無
- ⑤ 荷役設備(クレーン・ローディングアーム・蛇腹シュート等)の格納確認
- ⑥ 出港航路の状況(障害物及び他船の存在)を確認
- ⑦ 係留索の解らん、又は切断 → 出港 (分)
- ⑧ 出港後、陸上の関連部署、運航会社に連絡 緊急出港まで (分)
- _____



係留強化の場合

- ① 乗組員の招集 (分)
- ② 係留索の巻き締め、増し取り/係留索ウインチのブレーキ増し締め (分)
- ③ アンカーの準備 (分)
- ④ エンジン及びスラスタの準備(索切断、漂流に備えて) (分)
- ⑤ 荷役中断等の協議、指示 (分)
- ⑥ 防水措置(全防水扉の閉鎖、海水弁の閉鎖など)の確認 (分)
- ⑦ 陸上の関連部署、運航会社に連絡・確認 係留措置完了まで (分)
- ⑧ 情報収集の継続
(港長・港湾管理者等からの助言、避難指示に対する準備)
(港外退避する場合の安全(避難)水域の確認)
(陸上退避する場合の退避先、退避経路等の確認)
- _____



陸上避難の場合

- ① 乗組員の点呼・確認 (分)
- ② 退避先、退避経路、所要時間等の確認
- ③ 総員陸上避難の指示 (分)
- ④ 総員の陸上避難までの必要な船内作業 (分)
(荷役設備等の船・陸間の接続をできれば離脱しておく) 退船まで (分)
- _____



漂流した場合の留意(補足)

係留対応中に船体が岸壁から離れる場合、係留索の切断、ガントリークレーンやアンローダーが倒壊する恐れがあるので、乗組員は安全な場所に避難する